



www.toyo-eng.co.jp

2003年3月

# 決算説明資料

2003年5月26日

決算発表 2003年5月21日

説明会 2003年5月26日

お問い合わせ先

執行役員 業務管理本部副本部長兼経理部長 市川 勲

(e-mail) [ichikawa@ga.toyo-eng.co.jp](mailto:ichikawa@ga.toyo-eng.co.jp) (Tel) 047-454-1521

# 目次

<b>1</b>	<b>当決算の特徴</b>	P3	<b>5</b>	<b>受注</b>	
				受注	P16
				受注残高	P19
<b>2</b>	<b>業績</b>		<b>6</b>	<b>業績見込・目標</b>	P20
	業績概況	P4			
	損益計算書	P5			
	業績推移・概要	P7			
<b>3</b>	<b>貸借対照表</b>				
	貸借対照表	P12			
	有利子負債推移	P14			
<b>4</b>	<b>キャッシュフロー</b>	P15			

本資料に記載されている見通しや業績予想などのうち、歴史的事実でないものは現在入手可能な情報から得た当社の経営陣の判断にもとづき作成しております。従いまして、これら業績見通しのみ全面的に依拠する事は控えるようお願い致します。実際の業績は、当社の事業領域を取り巻く国内および海外の経済・金融情勢等、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは異なる結果となりうる事をご承知おきください。

# 当決算の特徴

## 2003年3月期 目標

- ・ 売上増大、営業黒字定着
- ・ 資産売却によらずに黒字化を目指す
- ・ 有利子負債削減を継続
- ・ 利益率重視の受注戦略

## 当決算の特徴

- ✓ 前期比大幅増収増益(営業利益)
- ✓ 営業利益率の大幅改善(3.1%:前期比+1.2%)
- ✓ 有利子負債は予定通り約100億円削減
- ✓ 受注は1950億円超(単体は1700億円超)
- ✓ 株式評価損により当期利益はマイナス
- ✓ 復配は見送り

## 業績概況

【単位:億円】

	2002.3期	2003.3期	前期比	中間時発表 見込	見込との 差異	備考
<b>連結</b>						
売上高	1589	1791	+202	1850	59	
営業利益	29	54	+25	50	+4	
経常利益	37	25	12	20	+5	
当期利益	10	9	+1	5	14	投資有価証券評価損13億円 (上場株式12億円)
<b>単体</b>						
売上高	1375	1492	+117	1650	158	工事が客先所掌である中南米 / 中近東案件の進行の遅れ
営業利益	14	31	+17	35	4	
経常利益	22	12	10	15	3	貸倒引当金戻入の整理変更
当期利益	11	10	+1	5	15	投資有価証券評価損15億円 (上場株式12億円)
2003年3月期 配当予定	2円		復配見送り			

2003年3月期 通期予想 前提為替レート 1USドル=120円

# 連結損益計算書

【単位：億円】

	2002.3期	2003.3期	増減
<b>売上高</b>	<b>1,589</b>	<b>1,791</b>	<b>+202</b>
売上原価	1,445	1,618	173
<b>売上総利益</b>	<b>144</b>	<b>172</b>	<b>+28</b>
粗利益率	9.1%	9.7%	+0.6%
販売費及び一般管理費	115	118	3
<b>営業利益</b>	<b>29</b>	<b>54</b>	<b>+25</b>
売上高営業利益率	1.9%	3.1%	+1.2%
営業外収益	46	22	24
営業外費用	38	51	13
営業外損益 計	8	28	36
<b>経常利益</b>	<b>37</b>	<b>25</b>	<b>12</b>
売上高経常利益率	2.4%	1.4%	1.0%
特別利益		3	+3
特別損失	51	22	+29
特別損益 計	51	19	+32
<b>税前利益</b>	<b>14</b>	<b>6</b>	<b>+20</b>
法人税等	5	12	7
法人税等調整額	10	0	10
少数株主利益	1	3	2
<b>当期純利益</b>	<b>10</b>	<b>9</b>	<b>+1</b>
売上高当期純利益率	0.7%	0.5%	+0.2%

中間期発表 見込	見込との 差異
1,850	59
50	+4
20	+5
5	14

\* ~ : 6ページ参照

# 連結損益増減明細

## 対前期比

堅調な受注に支えられ、前期比12.7%増の202億円増収。

プラント分野は、172億円増で12%の増収、IT分野は国内景気の低迷の中で、額としては28億円増、増収率は23%

営業利益率は、総利益率の向上(0.6%UP)と、増収による販管費負担率の低下により、前期より1.2%向上して3.1%。

有利子負債を約104億円圧縮したことにより、支払利息が減少。しかしながら為替差損(前期為替差益15.4億円、当期為替差損27.5億円、差引き43億円のマイナス)の発生により、営業外損益はマイナス。

上記 の為替差損の影響により、経常利益は前期比12億円の減少。

前期では特別損失計上の貸倒損失引当金繰入額(20億円)に対し、当期は特別利益で貸倒引当金戻入額(3億円)を計上、差引23億円のプラス。証券市場の低迷から前期に引き続き、投資有価証券評価損13億円を計上したが、前期(20億円)比では7億円のプラス。合計30億円のプラスが主たる要因。

TEC単体での事業税3億円の発生と、海外連結子会社の利益増に対する税負担の増加及び新規の繰延税金資産増加が発生しなかったことによる前期比17億円の税金費用の増加により、当期損失の前期からの改善は1億円にとどまった。

## 対見込比

客先が所掌する工事の進捗に遅れを生じたものがあり、見込を下回った。

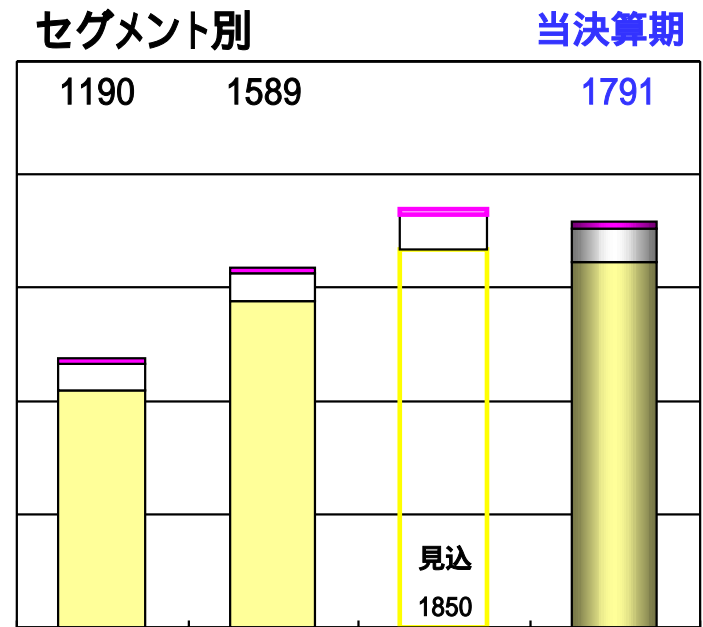
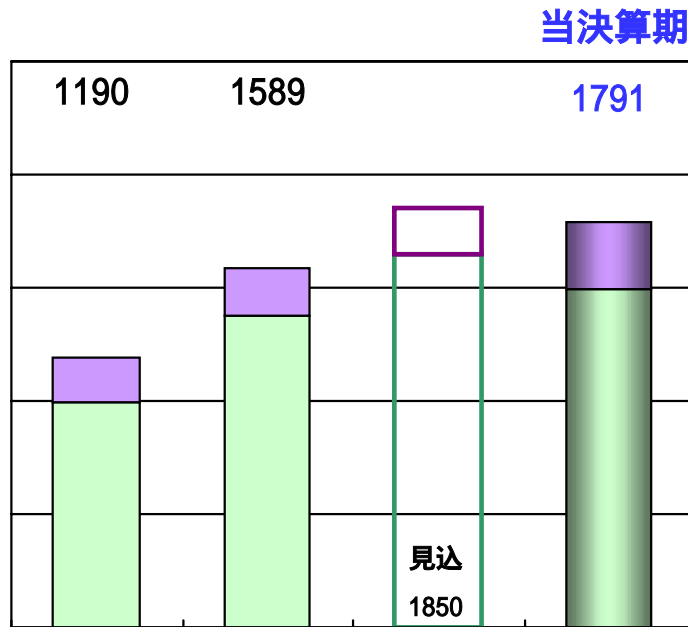
TEC単体の売上減少に伴う利益減少(3億円)に対して、堅調な連結子会社の収益の寄与(8億円)により、見込を上回った。

連結子会社の利益増加分に対応する税金費用及び少数株主利益の増加6億円と、投資有価証券評価損13億円により当期損失計上。

# 売上高 (実績)

➤ 売上高は増加傾向

【単位:億円】



		2001.3期	2002.3期	2003.3期	
				見込	実績
	連結	1,190	1,589	1,850	1,791
	単体	996	1,375	1,650	1,492

		2001.3期	2002.3期	2003.3期	
				見込	実績
	不動産	26	25	30	28
	IT	117	121	150	149
	プラント	1,046	1,442	1,670	1,614
	計	1,190	1,589	1,850	1,791

(注) 1,492億円はTECのグループ内売上を含む。

1,791億円はグループ内売上を消去後。TECの外部売上は1,480億円である。

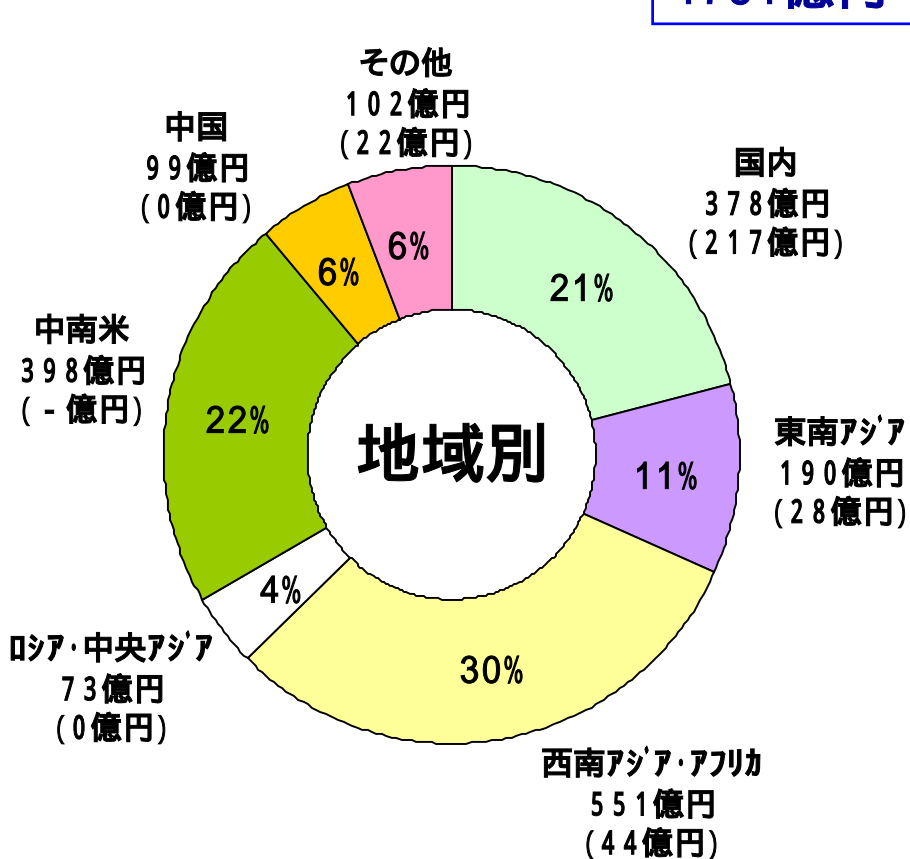
# 売上高 (地域別・商品別明細)

注： ( )内は連結子会社による売上高で、それぞれ内数である。

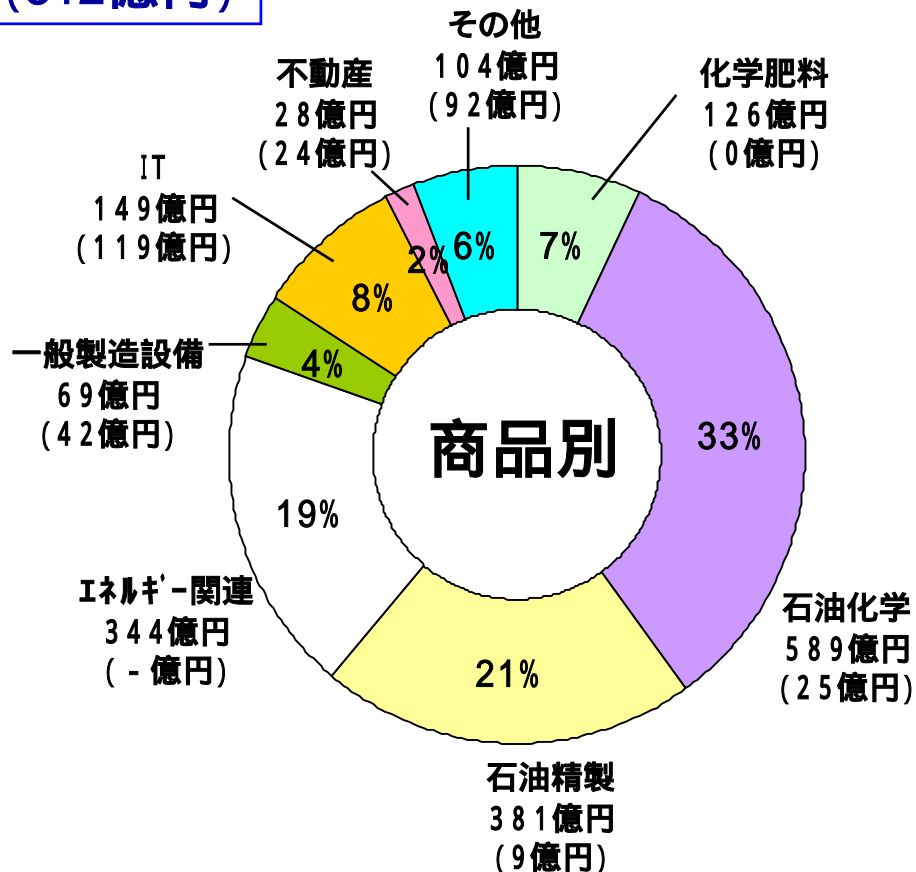
【単位：億円】

2003.3月期

1791億円 (312億円)



\* その他は主にアメリカと韓国



\* その他は主に連結子会社が行っているエンジニア派遣、輸送、スペアパーツ供給など、プラント事業に係る周辺業務である。



# 売上高 (主要プロジェクト別明細)

【単位:億円】

## 2003.3月期 売上高の主要プロジェクト別明細

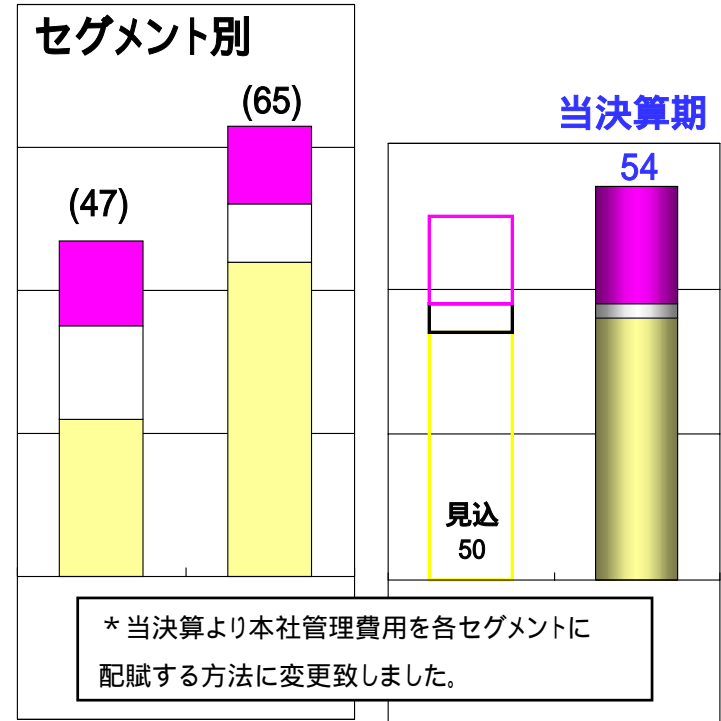
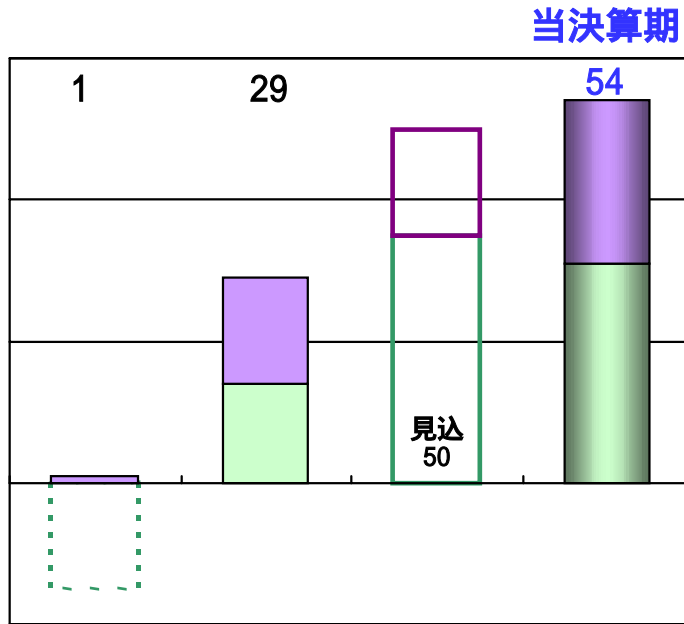
海外	100億円以上	4件	サウジアラビア向 石油化学 ブラジル向 石油精製 ブラジル向 エネルギー関連 イラン向 石油化学
	50億円以上	2件	中国向 石油化学 シンガポール向 石油化学
	20億円以上	9件	イラン向 化学肥料 インド向 エネルギー関連 韓国向 石油精製 他6件
国内	5億円以上	10件	一般製造設備 5件、 IT 5件

**2003.3期売上高  
1791億円**

# 営業利益

➤ 営業利益は増加傾向

【単位：億円】



	2001.3期	2002.3期	2003.3期	
			見込	実績
連結	1	29	50	54
単体	15	14	35	31

	2001.3期	2002.3期
不動産	12	11
IT	13	8
プラント	22	44
小計	47	65
本社管理費用	46	35
合計	1	29

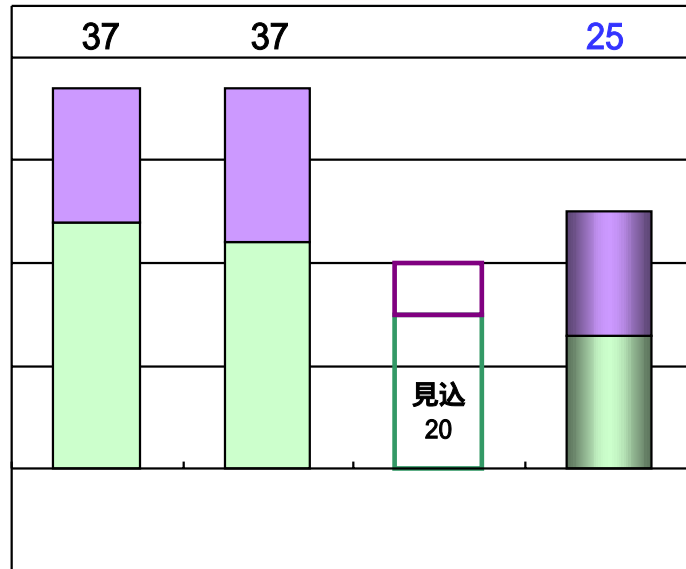
	2003.3期	
	見込	実績
不動産	12	16
IT	4	2
プラント	34	36
小計	50	54

# 經常利益・当期利益

【単位:億円】

## 經常利益

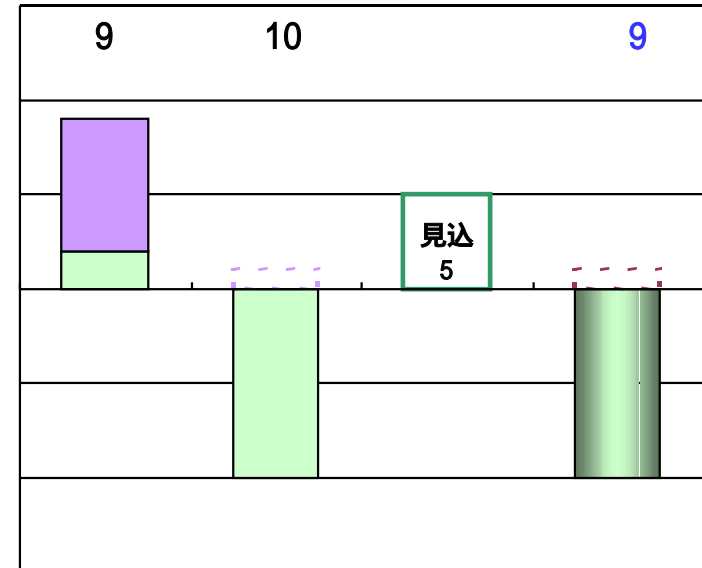
当決算期



	2001.3期	2002.3期	2003.3期	
			見込	実績
連結	37	37	20	25
単体	24	22	15	12

## 当期利益

当決算期



	2001.3期	2002.3期	2003.3期	
			見込	実績
連結	9	10	5	9
単体	1	11	5	10

# 連結貸借対照表

【単位:億円】

	2002.3期	2003.3期	増減
<b>流動資産</b>	<b>1,411</b>	<b>1,467</b>	<b>+56</b>
現金預金	436	427	8
完成工事未収入金等			
〔延払部分	157	124	33
〔上記以外	396	395	1
有価証券	5	1	4
未成工事支出金	318	418	+99
その他	97	101	+4
<b>固定資産</b>	<b>550</b>	<b>527</b>	<b>23</b>
有形固定資産	346	338	8
無形固定資産	11	12	+1
投資等	192	176	16
<b>資産合計</b>	<b>1,961</b>	<b>1,994</b>	<b>+33</b>

	2002.3期	2003.3期	増減
<b>流動負債</b>	<b>1,135</b>	<b>1,209</b>	<b>+74</b>
工事未払金等	262	332	+70
短期借入金(延払見合)	23	23	+0
短期借入金(上記以外)	441	379	62
未成工事受入金	337	388	+51
その他	71	85	+14
<b>固定負債</b>	<b>499</b>	<b>467</b>	<b>31</b>
長期借入金(延払見合)	106	81	25
長期借入金(上記以外)	353	337	16
その他	39	49	+10
<b>少数株主持分</b>	<b>18</b>	<b>21</b>	<b>+3</b>
<b>資本金</b>	<b>130</b>	<b>130</b>	<b>+0</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>155</b>	<b>155</b>	<b>+0</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>30</b>	<b>22</b>	<b>8</b>
<b>その他有価証券評価差額</b>	<b>2</b>	<b>5</b>	<b>3</b>
<b>為替換算調整勘定</b>	<b>4</b>	<b>5</b>	<b>1</b>
<b>自己株式</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>+0</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>1,961</b>	<b>1,994</b>	<b>+33</b>

# 連結資産・負債増減明細

## 現預金残高

- ・月商の2.9ヶ月と高水準。(特殊要因:東南アジア向け債権のリストラ合意による期末回収60億円)
- ・適正水準として、月商の1.5ヶ月～2ヶ月分を想定。

## 運転資金収支の改善56億円。(前期末273億円 当期末217億円)

改善の内容としては、堅調な受注により増加した未成工事支出金の増加額が仕入債務の増加額を上回ったものの、未成工事受入金の増加額がこれを補って余りあり、更に売掛債権の回収も進んだことによる。

### 【参考】 運転資金について

売上債権、未成工事支出金の合計額から、仕入債務、未成工事受入金の合計額を控除したものの。

減価償却費 7億円、

投資有価証券評価損 13億円、

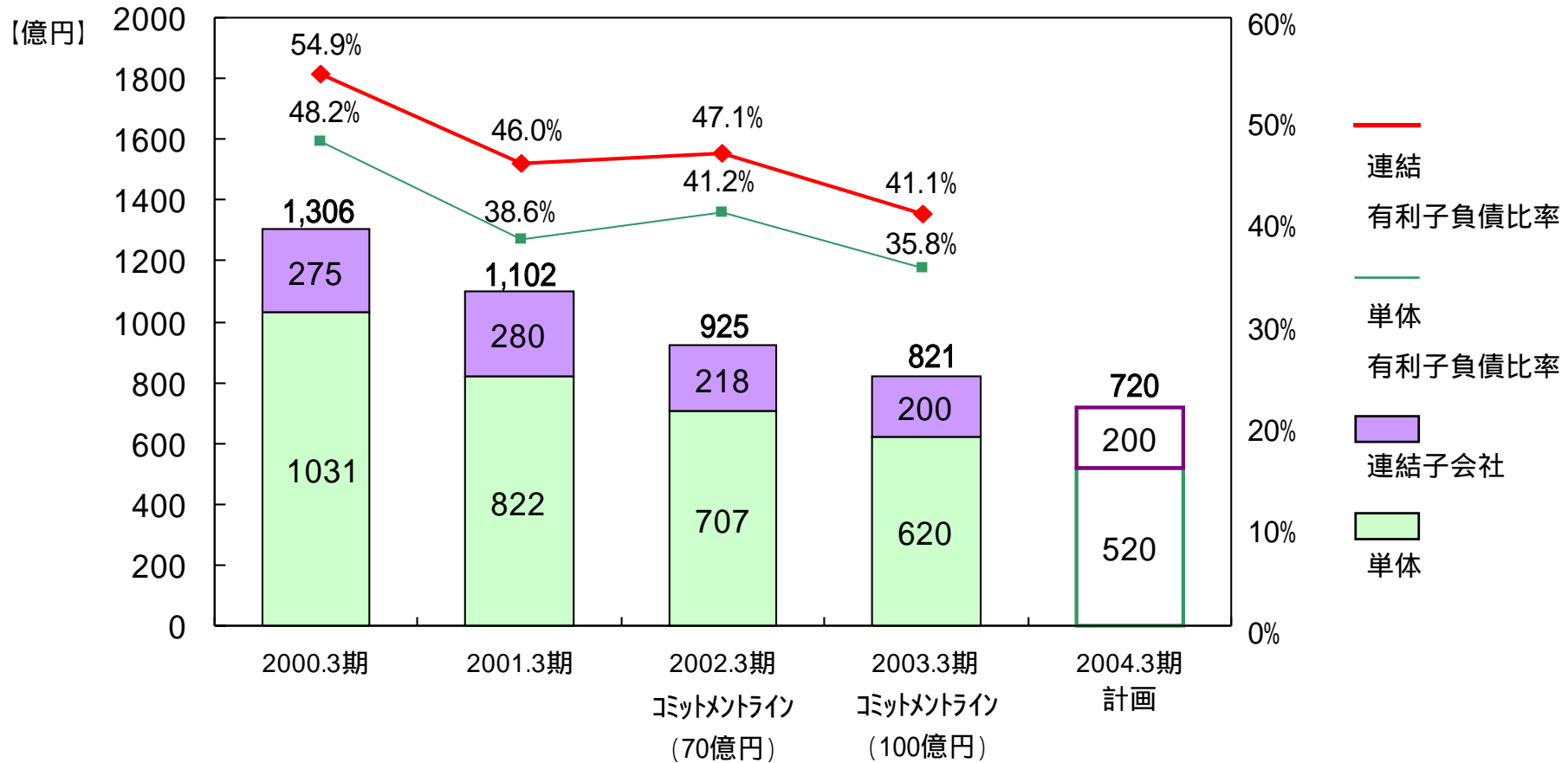
その他有価証券評価差額金減少額 3億円 等により、固定資産が23億円減少。

## 有利子負債の削減104億円。(前期末925億円 当期末821億円) 14ページ、15ページ参照

### 【参考】 延払について

これは当社の特徴的な部分であり、国際協力銀行の制度金融を利用した長期の輸出金融である。債権額の殆どは貿易保険でカバーされており、貸倒リスクは極めて低い。制度金融からの借入金は、有利子負債に含めて表示されているが、一般の借入金とは性格を異にするものである。

# 有利子負債推移



**有利子負債は約100億円削減**

**2003年度も約100億円の有利子負債の削減を継続**

# 連結キャッシュ・フロー

【単位:億円】

当決算期

摘 要	1999.4.1	2000.4.1	2001.4.1	2002.4.1
	~ 2000.3.31	~ 2001.3.31	~ 2002.3.31	~ 2003.3.31
. 営業活動によるキャッシュ・フロー	41	60	57	88
. 投資活動によるキャッシュ・フロー	72	74	13	2
. 財務活動によるキャッシュ・フロー	53	207	181	100
. その他	4	3	3	1
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>55</b>	<b>70</b>	<b>134</b>	<b>16</b>
新規連結に伴う現金同等物の増減額	15	-	-	7
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>639</b>	<b>569</b>	<b>434</b>	<b>425</b>

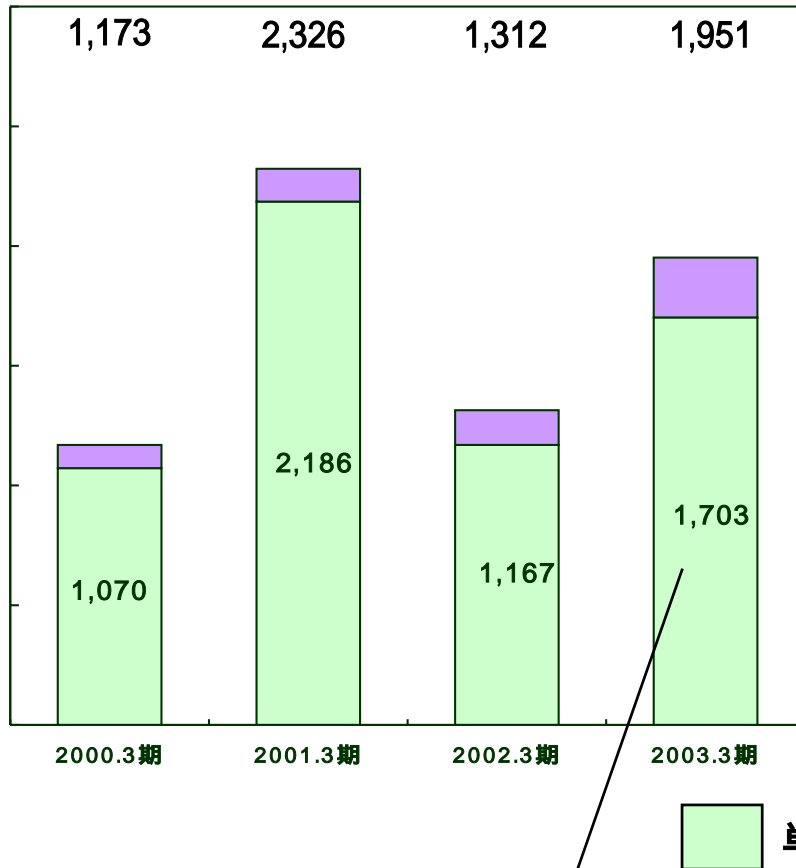
特徴:

営業債権の回収促進により営業キャッシュフローはプラス。これと、手持ちの現預金を原資として、有利子負債の返済を今期も継続した。

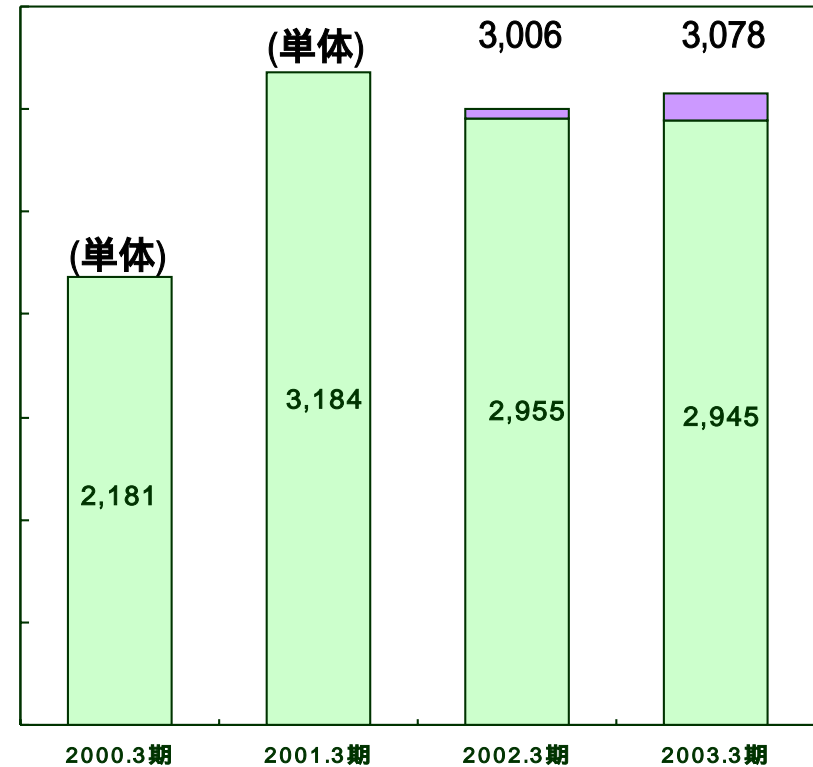
# 受注状況

【単位:億円】

## 受注高推移



## 受注残高推移



(注)1,703億円はTECのグループ内受注を含む。1,951億円はグループ内売上を消去後。TECの外部受注高は1,697億円である。



# 受注 (主要案件別明細)

【単位:億円】

## 主要案件別受注高

規模	2003.3期
200億円以上	ブラジル向 エネルギー関連 サウジアラビア向 石油化学 中国向 石油化学
100億円以上	ブラジル向 エネルギー関連 ロシア向 エネルギー関連
50億円以上	インドネシア向 石油精製
その他	エネルギー関連・一般設備・IT・他
合計	1,951億円 (外部受注高)

2002年度通期  
単体受注目標1600億円達成！！

関連会社分: B - ENG 118億円

### 外部受注高

(プラント・ITのみで不動産は受注としてカウントしていない)

TEC	1,697億円
B - ENG	118億円
その他 国内関連子会社	66億円
海外関連子会社	70億円
合計	1,951億円

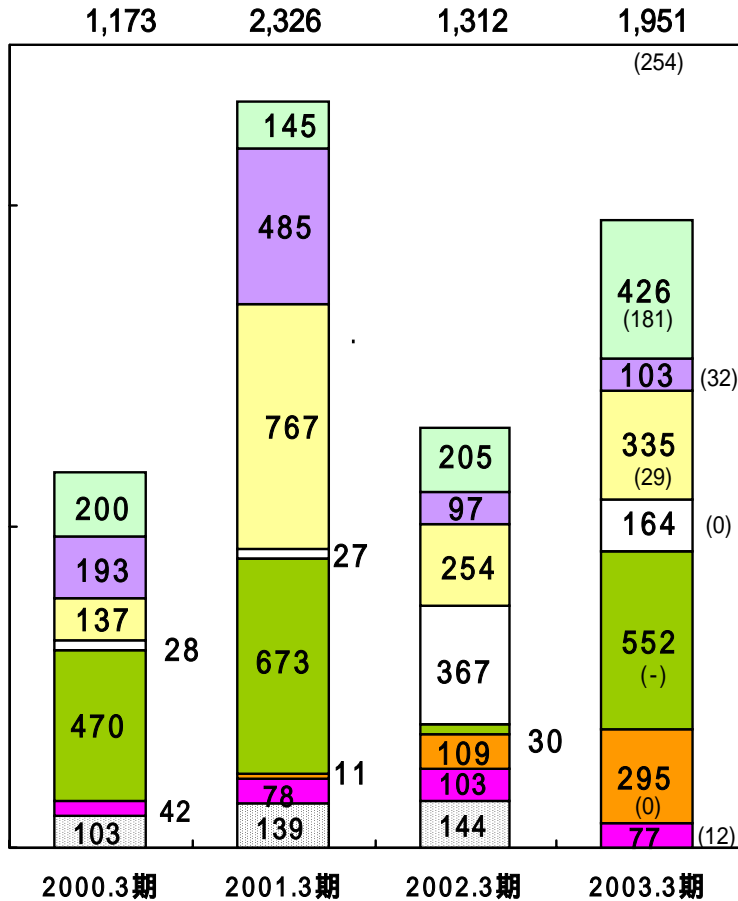
\*不動産事業は含まず。

5

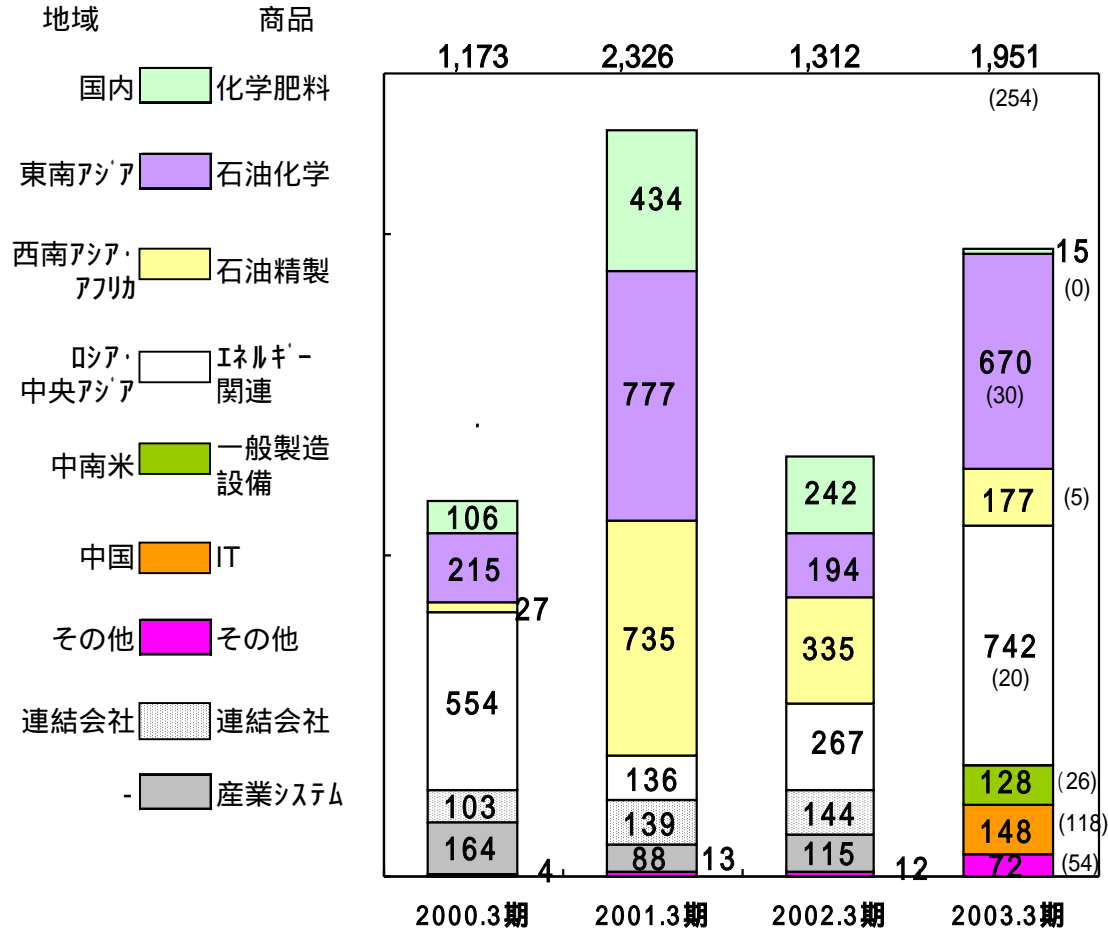
# 受注 (地域別・商品別明細)

(注) 本年度より連結ベースで地域別 / 商品別に把握することとしている。( )内は連結会社寄与額。 【単位: 億円】

## 地域別



## 商品別

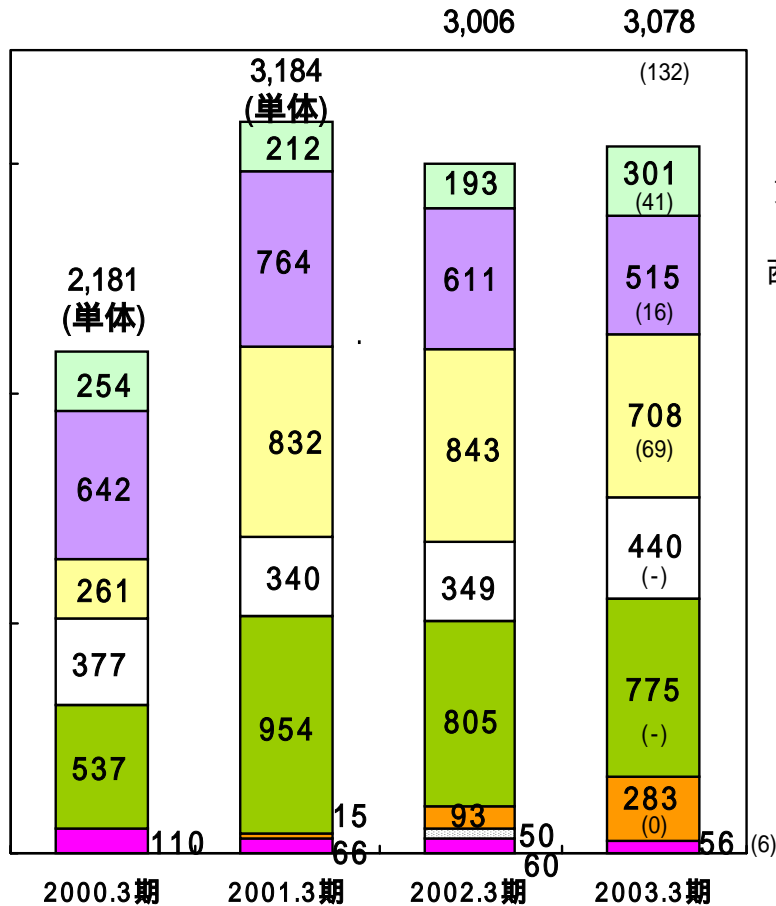


# 受注残高

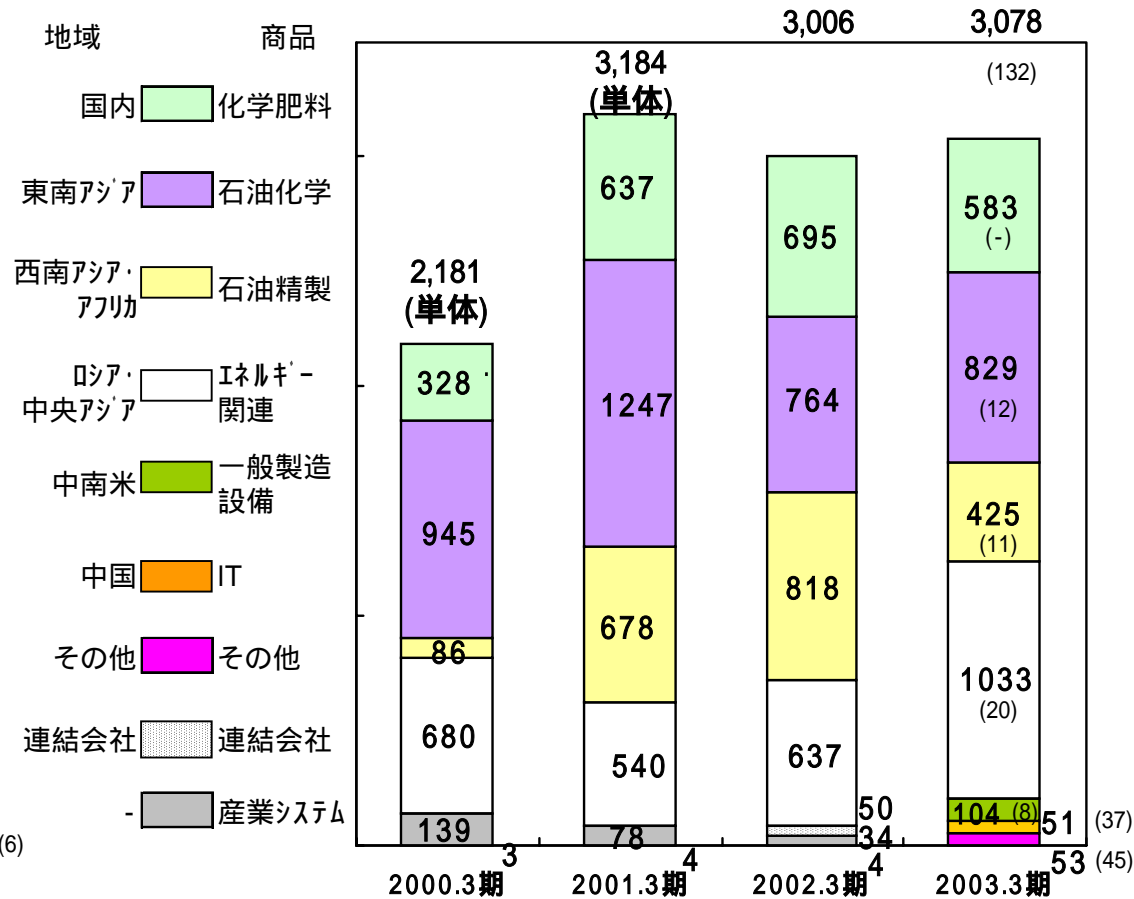
(注) 本年度より連結ベースで地域別 / 商品別に把握することとしている。( )内は連結会社寄与額。

【単位: 億円】

## 地域別



## 商品別



## 業績見込

【単位:億円】

	2003.3期	2004.3期見込		備考
		中間期	通期	
<b>連結</b>				
売上高	1791	750	1800	不動産事業(テックエステート)、IT事業(東洋ビジネスエンジニアリング)による安定的な収益の寄与
営業利益	54	3	55	
経常利益	25	0	40	
当期利益	9	0	20	
受注	1951	-	2200	
<b>単体</b>				
売上高	1492	650	1500	大型案件の確実な遂行による利益確保
営業利益	31	0	35	金融収支の更なる改善と確実な為替リスク対策
経常利益	12	5	30	
当期利益	10	5	10	法人税等(税効果含む)の発生 20億円を見込む
受注	1703	-	2000	
2004年3月期 配当予想		-	5円	

2004年3月期 予想 前提為替レート 1USD = 115円

- **本業による当期純利益目標の達成**
- **確実なプロジェクト遂行による利益確保**
- **利益率重視の受注戦略（粗利目標：連結9.4%、単体7%）**
  - 注目地域： ブラジル、中国、中近東
  - 注目分野： エネルギー関連
- **財務体質の改善（有利子負債削減を継続）**